

住宅用火災(熱式)警報器

自動試験機能付

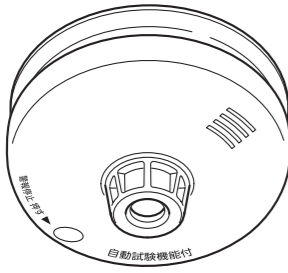


型式名 KA-262E

取扱説明書 [保管用][保証書付]

このたびは、警報器をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。なお、本書は取付後も大切に保管し、いつでも使用できるようにしてください。

- 消防法で定める定温式住宅用火災警報器として設置できます。
- この警報器は消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。
- 台所への設置は、条例により取り付ける警報器の種類が異なります。各市町村が定める火災予防条例を確認してください。
- この警報器は、火災などによる熱を感知して音声で警報を発するものです。火災の発生を未然に防止する装置ではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- この警報器は、換気扇等により熱気が吸引され、熱感知部の温度が上昇しない場合は、火災警報機能が働きます。
- この警報器は、次のような火災では作動しないことがありますので注意してください。火のまわりの早い、または爆発的な火災くん煙火災



新コスモス電機株式会社

本社 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4 TEL(06)6308-2310代
 東日本支社 〒105-0013 東京都港区浜松町2-6-2(藤和浜松町ビル3F) TEL(03)5403-2707代
 西日本支社 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4 TEL(06)6308-2310代
 都店 〒463-0004 名古屋市東区栄3-15-31(住生活センタービル2F) TEL(052)933-1650代
 札幌営業所 〒060-0005 札幌市中央区北5条西2-2-2(札幌センタービル20F) TEL(011)231-1101代
 仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区南4-12-7(エディックビル4F) TEL(022)295-6061代
 新潟営業所 〒950-0855 新潟市東区江南6-2-1(ヨシックスビル) TEL(025)287-3030代
 静岡営業所 〒422-8082 静岡市駿河区福川13-1-20(ハギワラビル2F) TEL(054)288-7051代
 静岡支店 〒690-0085 金沢市ニッ館町8-1(アール・スズビル2F) TEL(076)234-5611代
 広島営業所 〒730-0851 広島市中区豊町9-4 TEL(082)294-3711代
 九州営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-1-1(NORITビル5F) TEL(092)431-1881代

KA262ECT_(03)_

保証書

本書はお買い上げ日から下記期間中に故障が発生した場合に、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

警報器型式 KA-262E

保証期間 お買い上げ日から1年間

お買い上げ日	年	月	日
ご住所			
お客さま	お名前	様	
	電話()	-	
	住所・店名		
販売店	電話()	-	

(販売店さまで必ず各欄に記入して、お渡してください)

新コスモス電機株式会社 (裏面もご覧ください)
TEL (06) 6308-2310 (代)

1. 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

- 危険** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。
- 警告** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
- 注意** 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

- 「一般的な禁止」事項を示しています。
- 「分解禁止」事項を示しています。
- 「水ぬれ禁止」事項を示しています。
- 「必ず行う」事項を示しています。

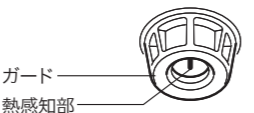
危険

- 警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。
- 火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。
- 消火が不可能なときは、避難してください。



警告

- ガードの中にある熱感知部には触らないでください。火災を感知しなくなるおそれがあります。



- 分解や改造はしないでください。故障の原因となります。

- 警報器を落下させるなど、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

- 警報器の取り付け、取り外し、定期点検、異常時の点検・処置などを行うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。転落・転倒・落下によるケガのおそれがあります。

- 定期的に(1ヶ月に1度)スイッチを操作して、警報器が正常に動作するか点検をしてください。また、1週間以上留守にされたときは、警報器が正常に動作するか点検をしてください。

- ライターなどの炎などを使って、点検を行わないでください。火災や故障の原因となります。

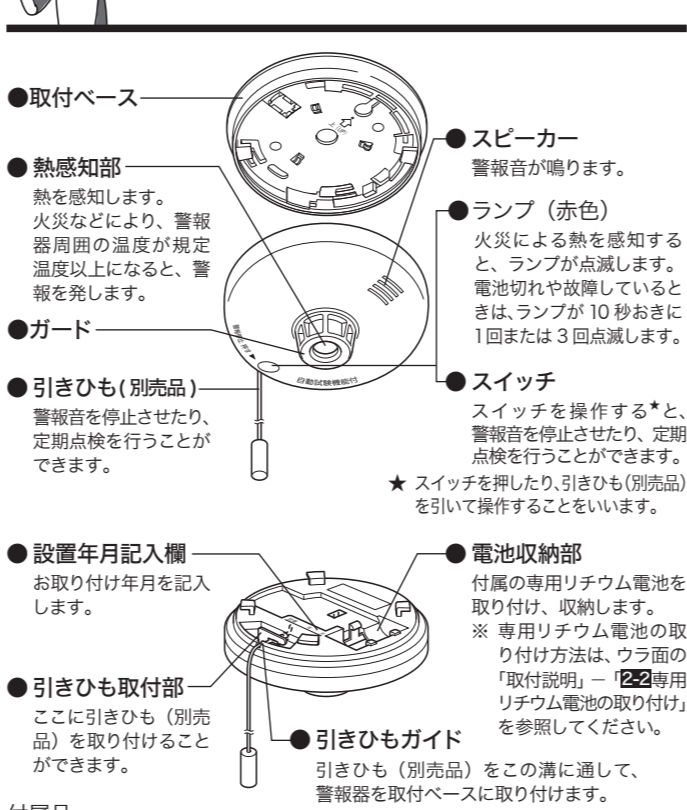
注意

- 警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。警報の遅れの原因となります。
- 警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。聴力障害などの原因になるおそれがあります。
- 警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。故障の原因となります。

注意

- 引きひも(別売品)を引いて火災警報音を止めるとき、および定期点検をするときは、強く引いたり、ぶら下がったりしないでください。警報器の落下や、ひも切れまたはひもが外れるおそれがあります。
- 専用リチウム電池のコネクタは確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあります。
- 天井面に取り付ける場合、取付ベースの真下で取り付け作業を行わないでください。ねじの締め付け時に天井材のくずが目に入るおそれがあります。目に入った場合は、ただちに洗い流してください。
- 付属の取付ねじを使用して確実に取り付けてください。両面テープなどで取り付けると、落下によるケガやものが破損するおそれがあります。
- 取付ベースや警報器本体の取り付けは、確実に行ってください。落下によるケガやものが破損するおそれがあります。
- 正しい取付位置に取り付けてください。取り付けてはいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤作動、故障の原因となります。

2. 各部のなまえとはたらき



取付ねじ(φ3.5×20) … 2本	専用リチウム電池 … 1個
石膏ボードピン … 5本	取扱説明書(保証書付)[本書] … 1枚

別売品
 引きひも(型式名:HH-01) … 1本
 ※引きひも長さ:約70cm 使用しやすい長さにカットしてご使用ください。

3. 警報器のお知らせ機能について

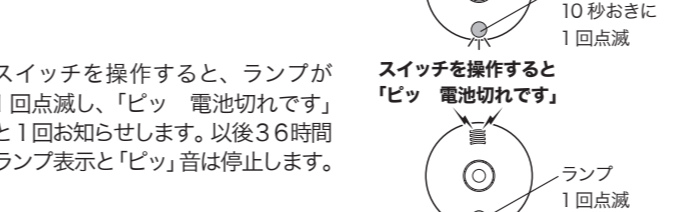
火災が発生したときは

警報器周囲の温度が規定温度以上になると、ランプが点滅し、「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」と警報を発します。



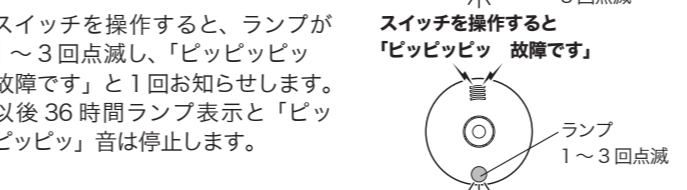
電池切れのときは

電池切れが近づくと、ランプが10秒おきに1回点滅し、「ピッ 電池切れです」と1回お知らせした後、約1分おきに「ピッ」音が鳴ります。



故障しているときは

故障しているとき、ランプが10秒おきに3回点滅し、「ピッピッピッ故障です」と1回お知らせした後、約1分おきに「ピッピッピッ」音が鳴ります。



故障状態では熱を感知できず、火災警報動作をしない場合があります。

- ※ 電池切れ警報中または故障警報中であっても、熱を感知した場合、火災警報を発します(熱感知部が故障している場合を除きます)。
- ※ 36時間の停止中にスイッチを操作すると、お知らせの音声を発しますが、36時間のタイマーはリセットされません。
- ※ 36時間を経過すると、再度ランプが点滅し「ピッ」音(または「ピッピッピッ」音)が鳴ります。

〈自動試験機能〉
電池切れまたは故障した場合、自動的に検知し、お知らせする自動試験機能を備えています。

自動試験機能では、すべての故障は検知できません。ランプが点滅しなくても1ヶ月に1回程度の点検を行ってください。

〈鳴動原因表示機能〉
定期点検時にスイッチを約1秒間操作すると、過去10日以内に警報(火災・電池切れ故障)があった場合、警報があったことをランプの点灯(または点滅)でお知らせします。

- ※ スイッチを約1秒間操作した日の過去10日以内で、最後に発した警報履歴のみ確認できます。
- ※ 警報器が故障している場合、この機能は働きません。スイッチを約1秒間操作すると、「ピッ 正常です」の後に以下の表示をします。
- 火災警報があった場合、ランプが約1秒間点灯します。
- 電池切れ故障があった場合、ランプが約1秒間に3回点滅します。※ 専用リチウム電池のコネクタを警報器に接続してから約25分以内については、警報履歴は残りません。

4. 警報音が鳴ったときの処置のしかた

1 『ウーウーカンカン 火事です 火事です』と鳴ったときの処置のしかた【ランプが点滅】

火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。初期消火

危険

警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難してください。



119番への通報

警報器周囲の温度が規定温度以下になると、警報音が止まり、ランプが消灯します。

2 火災以外で警報音が鳴ったときの処置のしかた

警報音を止めたいとき

スイッチを約1秒間操作してください。警報音が止まり、ランプが約5分間消灯します。※ 警報音を停止してから5分後、熱感知部が熱を感知している場合は、再度警報音が鳴り、ランプが点滅します。※ 警報音を停止している間に、警報作動原因を取り除いてください。(ウラ面の「8.故障かな?と思ったら」参照)

警報音が鳴った原因について

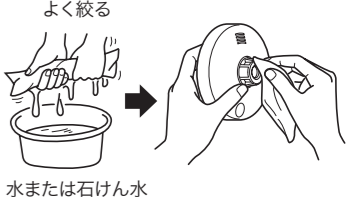
火災以外でも次のような場合には、火災警報動作をすることがあります。

- 調理中の熱がこもった場合。
- エアコンなどの空調の熱が直接警報器に当たった場合。
- ※ 警報作動原因を取り除いてください。(ウラ面の「8.故障かな?と思ったら」参照)

5. お手入れのしかた

警報器が汚れると、火災を感知しなくなるおそれがあります。警報器がより良い状態で動作するようにお手入れをおすすめします。

- 警報器を取り外す。(下記の「6.警報器の取り外し・取り付けかた」参照)
- 警報器および取付部付近の壁面または天井面の汚れをふき取る。布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからふき取ってください。※ ガードの中にある熱感知部には触らないでください。火災を感知しなくなるおそれがあります。
- 本体の表面がよく乾いてから取り付ける。(ウラ面の「取付説明」-「2」取り付けかた」参照)
- 本体を取り付けてから、正常に動作することを確認する。(下記の「7.定期点検」参照)



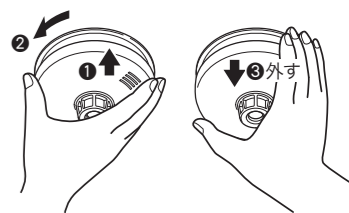
おねがい

- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどを使うと、警報器本体の表面を傷めることがありますので使用しないでください。
- お手入れ後、熱感知部に異物(糸くず、水など)が残っていないか確認してください。



6. 警報器の取り外し・取り付けかた

取り外しかた
 警報器を、取付ベースに押し付けながら左(反時計回り)に回し、止まったところで警報器を引いて外してください。※ ガードの中にある熱感知部には触らないでください。火災を感知しなくなるおそれがあります。

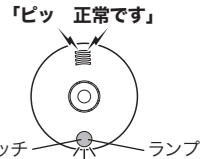


取り付けかた
ウラ面の「取付説明」-「3」取り付けかた」を参照してください。

7. 定期点検

正常に動作することを確認するために、1ヶ月に1回程度定期点検を行ってください。(1週間以上留守にされた場合も点検を行ってください。留守中の電池切れ警報を、確認できないおそれがあります。)

- 警報器が警報動作中や警報音停止中でないことを確認する。
- スイッチを約1秒間操作する。
 - 「ピッ 正常です」が1回鳴り、ランプが1回点滅すれば正常です。
 - 10日以内に火災警報または電池切れ故障があった場合は、履歴を表示します。(「3.警報器のお知らせ機能について」参照)



〈正常に動作しない場合は〉
動作確認をしても警報音が鳴らないなどの異常があった場合は、ウラ面の「8.故障かな?と思ったら」を参照してください。

8. 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の点検および処置をしてください。
下記の点検・処置をしても異常があるときは、販売店にご連絡ください。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
火災ではないのに火災警報動作する。	調理の熱がこもっていませんか？ エアコンなどの空調の熱が直接警報器に当たっていませんか？	室内を換気してください。 頻りに警報する場合は、取付場所に問題がある可能性があります。
火災警報動作が止まらない。	熱感知部に熱などが残っていませんか？	熱感知部にうちわ、ドライヤー（冷風）などで風を送り、熱などを取り除いてください。 それでも止まらない場合は専用リチウム電池を抜き、販売店にご連絡ください。
約10秒間隔でランプが点滅する。 約1分間隔で「ピッ」音または「ピッピッ」音が鳴る。	スイッチを操作したとき、「ピッ」電池切れのメッセージが鳴りませんか？ スイッチを操作したとき、「ピッピッ」故障のメッセージが鳴りませんか？	専用リチウム電池が消耗しています。 販売店にご連絡ください。（オモテ面の「3. 警報器のお知らせ機能について」参照）
スイッチを操作しても音声警報が鳴らない。	専用リチウム電池が確実に取り付けられていますか？ 専用リチウム電池が切れていませんか？（電池切れ警報がしていませんか？）	電池コネクタを確実に接続してください。（それでも動作しない場合は、販売店にご連絡ください。） 販売店にご連絡ください。

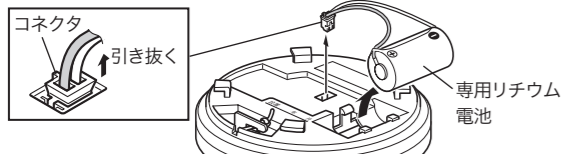
電池が切れているとき、またはリチウム電池を取り外した状態では熱を感知できず、火災警報動作をすることができませんので注意してください。

9. アフターサービスについて

- この警報器の保証期間はご購入日から1年間です。保証書をご参照ください。保証書にお買い上げ日、販売店名の記載がない場合は、原則として有料による修理となります。お取り付け時にご確認ください。保証書は大切に保管してください。保証期間経過後の故障、電池切れについては有料による修理となります。
- この警報器の機器交換の目安は10年です。10年を経過した警報器は新しい警報器とのお取り替えをおすすめします。
- 警報器に異常がある場合は、修理を依頼される前に「8. 故障かな？と思ったら」の項目、処置をご確認ください。処置をしても異常がある場合は販売店にご連絡ください。
- 設置場所の環境や点検頻度などにより、電池寿命が短くなる場合があります。
- 電池の入手方法
電池交換が必要になったときは、販売店にご連絡ください。
電池型名：CR-2/3AZC22P
公称電圧：DC3V
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店までご連絡ください。

10. 廃棄について

廃棄するときは、本体と電池を分別することができます。
※この製品に使用している電池は、「一次電池（リチウム電池）」です。一般の不燃ゴミとして廃棄できますが、廃棄方法は各自自治体の指示に従ってください。

警報器と専用リチウム電池の分別のしかた	
専用リチウム電池のコネクタを引き抜き、専用リチウム電池を取り出してください。	

取り出した専用リチウム電池のコネクタは、ショートしないようにテープなどを巻いてください。
リチウム電池の廃棄を誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあり、ケガをしたり、火災に至るおそれがあります。

施工説明

【施工される方へ】

1 お願いとご注意

- この警報器を安全に正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、指定されたお取り付けを行ってください。
- お取り付け終了後に、必ず動作点検を行ってください。万一、動作不良があったときは販売店にご連絡ください。
- 警報器の取り付けを行うまでは、警報器を袋から取り出さないでください。

2 取り付け前の確認

2-1 設置年月の記入

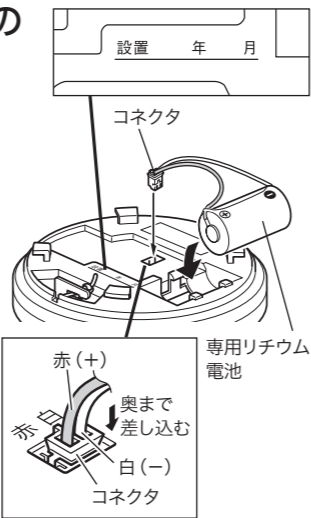
本体裏側の設置年月記入欄に、油性ペンなどで設置年月を記入してください。

2-2 専用リチウム電池の取り付け

注意

- コネクタの接続にドライバーなどを使用しないでください。コネクタが破損したり、電池がショートする原因になります。
- 専用リチウム電池の外装フィルムは電池を保護するものです。はがさないでください。
- コネクタには極性があり、逆向きには接続できません。

- コネクタを接続する。
- 電池を電池収納部にはめ込む。



11. 仕様

項目	仕様
種別	定温式住宅用防災警報器
感知方式	熱感知式（定温式）
定格	DC3V、300mA
電源	専用リチウム電池 CR-2/3AZC22P（DC3V）
電池寿命	約10年*
試験機能	自動試験機能
警報音量	70dB（A）/m以上
外形寸法	φ98mm×43mm
質量（電池を含む）	約100g
使用温度範囲	0℃～+40℃（結露しないこと）
復旧	自己復旧方式
付属品	取付ねじ（2本）、石膏ボードピン（5本）、専用リチウム電池、取扱説明書（保証書付）（本書）

*10年間の寿命を保証するものではありません。ご使用環境の温度、湿度、点検回数（火災警報回数）などのご使用条件によって短くなる場合があります。

2-3 取付位置の確認

正しい取付位置について

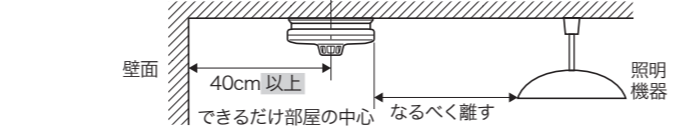
- この警報器は、以下のような場所への設置をおすすめします。台所など
- ※設置および維持基準については、政省令で定める基準に従い、市町村条例で定められています。各市町村によって設置場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

- 警報器のスイッチ（点検、警報音停止兼用）が操作しやすい位置に取り付けてください。

- 換気口など、空気の吹出口から1.5m以上離してください。

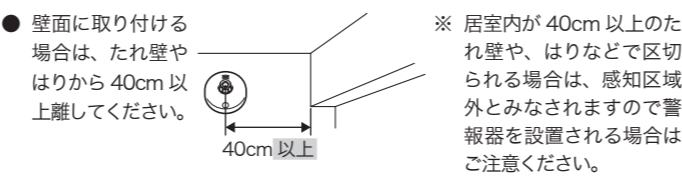
- 天井面に取り付ける場合は、壁よりはりから40cm以上離れた位置に取り付けてください。

- 壁面に取り付ける場合は、熱感知部の中心が天井面下15cmから50cmまでの範囲にくるように取り付けてください。



- 壁面に取り付ける場合は、熱感知部の中心が天井面下15cmから50cmまでの範囲にくるように取り付けてください。

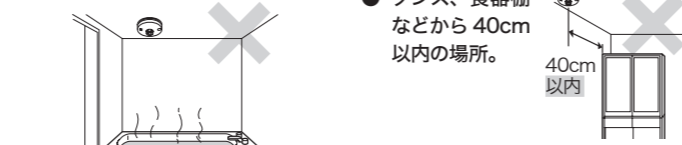
- 壁面に取り付ける場合は、たれ壁やはりから40cm以上離してください。



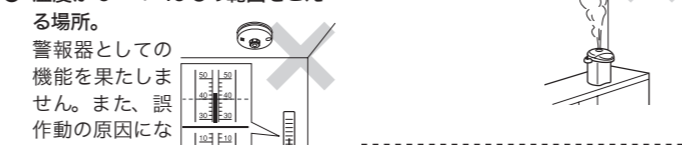
取り付けてはいけない場所について

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けしないでください。誤作動や故障、または警報が遅れる原因となります。

- 浴室、水のかかる場所、水滴がつく場所、結露する場所。感電や電氣的故障の原因になります。
- 階段・廊下。台所への設置をおすすめします。
- タンス、食器棚などから40cm以内の場所。



- 火災以外の熱や蒸気がかかる場所。



- カーテンウォールなどで仕切られた場所。

- 空気が流れが激しい場所。換気扇や扇風機の近く。すきま風の強い場所。

- 暖房の吹き出し口や煙突の近く。
- レンジ、ストーブなどの真上および近く。誤作動の原因となります。

3 取り付けかた

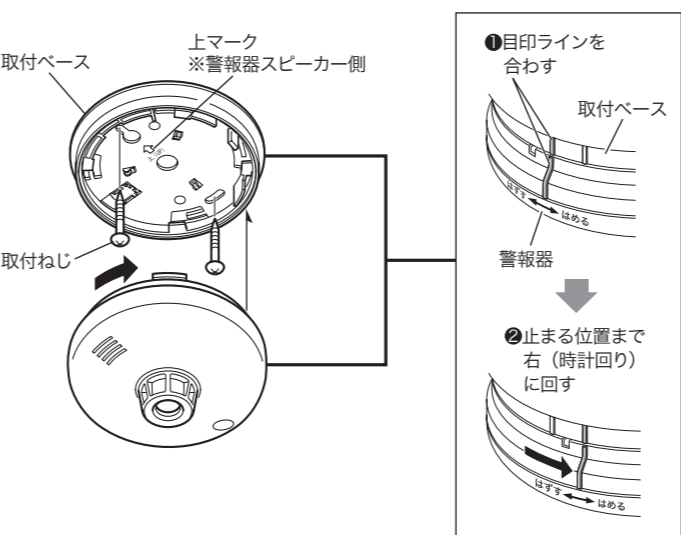
注意

- 取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り付けしないでください。
- 取付強度を保持するため、取付ねじ、石膏ボードピンは根元まで差し込んでください。万一、ゆるんだ場合は、取付位置をずらして付け直してください。
- 取り付けには、両面テープを使用しないでください。
- 天井面への取り付けには、石膏ボードピンを使用しないでください。

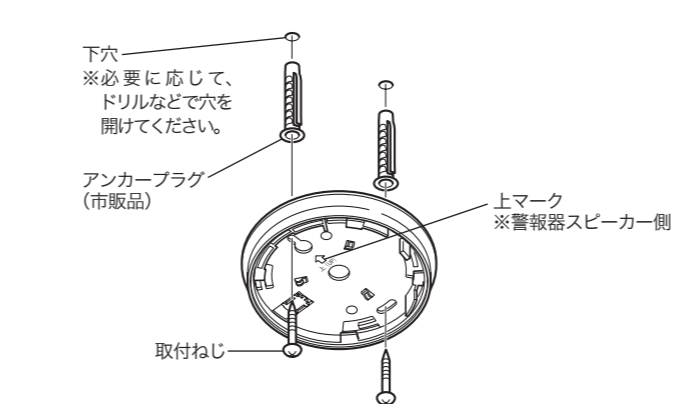
3-1 天井面に取り付ける場合

木質天井面や石膏ボードの天井面では、棧が通っている箇所に取付けてください。

- 取付ベースを、図のように取付ねじ（2本）で天井面に固定する。



石膏ボードの場合
アンカープラグ（市販品）を使用して、取付ベースを取付ねじで取り付ける。

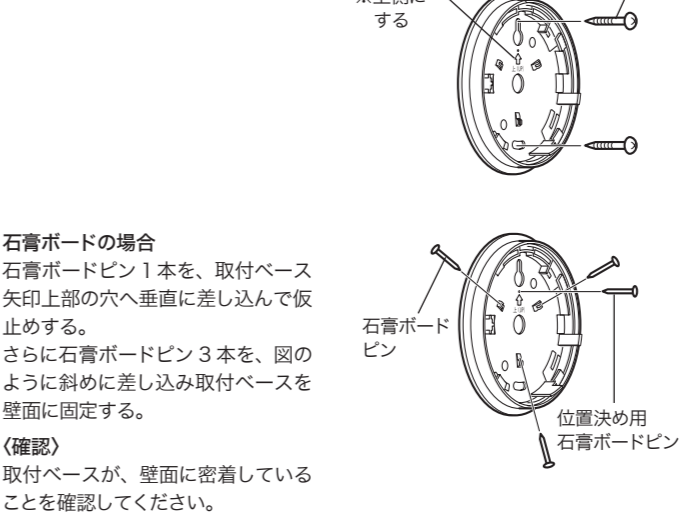


- アンカープラグは取付ねじ（φ3.5）に合った石膏ボード用のものをご用意ください。
- アンカープラグの種類によっては、ドリルなどで下穴を開ける必要があります。ご用意されたアンカープラグの取付方法にしたがってください。
- 取付ベースを取り付ける向きで、警報器の向きが決まります。ご注意ください。
- 警報器と取付ベースの目印ラインが合うように、警報器を取付ベースに合わせて、止まる位置まで右（時計回り）に回して固定する。
- ガードの中にある熱感知部には触らないでください。火災を感知しなくなるおそれがあります。

確認
警報器が容易に脱落しないことを確認してください。

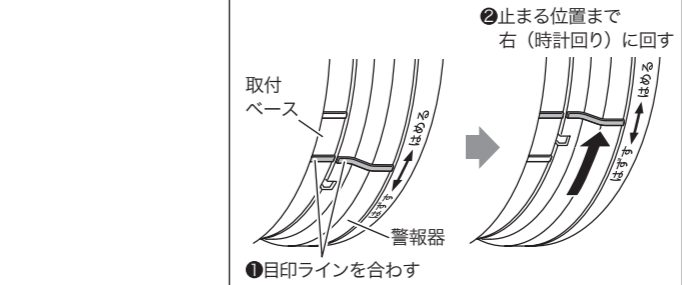
3-2 壁面に取り付ける場合

- 取付ベースを、図のように取付ねじ（2本）で壁面に固定する。



- 警報器と取付ベースの目印ラインが合うように、警報器を取付ベースに合わせて、止まる位置まで右（時計回り）に回して固定する。
- ※ガードの中にある熱感知部には触らないでください。火災を感知しなくなるおそれがあります。

確認
警報器が容易に脱落しないことを確認してください。



3-3 引きひも（別売品）の取り付けかた

- 警報器を外して、引きひも（別売品）を引きひも取付部にはめ込んでください。
- 引きひも（別売品）を引いて、引きひもガイドを通して、元のように警報器を取り付けてください。



4 取り付け後の点検

- 警報器が警報動作中や警報音停止中でないことを確認する。
- スイッチを約1秒間操作する。
 - 「ピッ 正常です」が1回鳴り、ランプが1回点滅すれば正常です。



- スイッチを約4秒間操作する。
 - 「ピッ」音の後に「ピッピッ」と鳴ります。
- スイッチまたは引きひも（別売品）から手を離す。
 - ランプが点滅し「ウーウーカンカン」火事です 火事です ピー」と鳴り、終了します。



（上記の動作をしない場合）
警報器の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。

5 警報器の取り外し

警報器の取り外しかたは、オモテ面の「6. 警報器の取り外し・取り付けかた」を参照してください。

無料修理規定	
（保証書 続き）	
1. 取扱説明書、本体に表示の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。 (1) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店までお申し付けください。 (2) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、弊社にご相談ください。	
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。	
3. 本書に定める保証の範囲は機器本体（専用電池を含む）とします。機器本体以外に生じた損害は、本保証書に定める保証の対象ではありません。	
4. 保証期間でも次のような場合には原則として有料修理となります。 (1) 使用上の誤り、不適当な修理、および分解、改造されたことによる故障、および損傷。 (2) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下衝撃などによる故障、および損傷。 (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常温度、異常電圧等による故障および損傷。 (4) 一般家庭用以外（例えば業務用設備、車両、船舶など）に使用された場合の故障、および損傷。 (5) 過度な頻度で警報器を点検したことにより電池が消耗した場合。 (6) 取付場所が不適切で、調理の熱や、暖房器具による熱など、住環境による警報発生により電池が消耗した場合。 (7) 本書のご提示がない場合。 (8) 本書にお買い上げ日、販売店名の記載がない場合。あるいは字句を書き替えられた場合。	
5. 本書は日本国内のみ有効です。	
6. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。 ※この保証書は、保証期間内に本書に示す条件において無料修理をお約束するものです。 ※お客さまにご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応および安全点検活動のために利用させていただく場合がございます。 ※この保証書によって、保証書を発行している者（保証者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。 ※保証期間経過後の修理については取扱説明書をご覧ください。 ※ This warranty is valid only in Japan.	